

或問

編集後記

この『或問』第48号がお手元に届くころにはすでに2026年を迎えていることでしょう。新年のご挨拶を申し上げます。本号には論考12編、翻訳1編が収められています。いつも最新の研究成果を小誌に寄せ、学界に提供してくださる著者の皆さまに感謝するほかありません。

「白駒過隙」2025年はあっという間に過ぎました。読者の皆さんにとって、2025年はどんな年だったのでしょうか。編集部は杭州で春学期、秋学期を過ごしました。浙江工商大学で授業をし、各地で開かれたいくつかの研究会にも参加しました。たいへん充実した一年間でした。もっとも、挫折を感じたこともあり、東アジア文化交渉学会年度大会の開催校なかなか決まらず、時期をずらして10月マカオ大学にて開催することになりそうです。これから詰めの作業をします。とにかくいまの境遇に感謝しつつ前へ進みます。

巻頭の人物写真は、矢野龍溪（1851-1931）と徳田秋声（1872-1943）です。矢野龍溪は日本の清国駐在特命全権公使を務めた人物として知られますが、日本語の文体改革についても一家言を持つ人です。徳田秋声は自然主義の小説家として知られますが、その著『明治小説文章変遷史』（1914）は、明治初期の翻訳を取り上げ、詳細に論じています。しかし書名に「翻訳」の文字がないからか、翻訳研究者に殆ど取り上げられません。北京外国語大学PDの陳曉淇氏は困難を顧みずにその中国語訳に挑みました。次号にも続きますので、ご期待下さい。

次号は第49号になり、2026年6月末を締め切りとさせていただきます。皆様のご寄稿を心待ちにしております。

第48号編集担当：沈国威（2025.12.30）

執筆者一覧

松浦 章	（関西大学）
田野村忠温	（大阪大学）
陶 徳民	（関西大学）
荘 欽永	（新躍社科大学）
黄 河清	（香港中国語文学会）
徐 成	（南開大学）
楊 馳	（西南交通大学）
黄逸/胡盼	（浙江越秀外国语学院）
FU Jia	（北京大学）
張 萍	（浙江外国语学院）
李 瑞華	（魯東大学）
周 艷君	（嘉興大学）
陳 曉淇	（北京外国語大学）

或問 第48号 2025年12月30日発行

WAKUMON No.48 （2025.12）

編集・発行：

近代東西言語文化接触研究会

代表者 内田慶市

E-mail:u_keiichi@mac.com

<http://keiuchid.sakura.ne.jp>

編集 沈 国威

E-mail:shkky@kansai-u.ac.jp

<https://www2.kansai-u.ac.jp/shkky/>

事務局：関西大学 惟謙館 2階 研究室

ダイヤルイン 06-6368-3268

564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

口座番号：ゆうちょ銀行418 8826277

口座名称：近代東西言語文化接触研究会

印刷 遊文舎

頒価 1,500円